

福井ブランド全国発信強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H23 年度	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 [高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	□ 補助金		経過年数		
			[福井県観光新戦略]				<input type="checkbox"/> その他	□ その他		6 年		
[事業目的]												
福井ブランドを全国に展開するため、情報の発信元となる都市圏での集中的なPRや企業とコラボレーションしたPRなどを展開し、食や歴史、恐竜などの福井ブランドの認知度向上および誘客促進を図る。												
[事業内容]												
(1) 東京駅および周辺での「恐竜王国福井」集中プロモーションの実施 1 東京・丸の内での恐竜イベントの開催／三菱地所とのタイアップ ・恐竜全身骨格標本の展示等 (6,500千円) 2 恐竜をテーマにした駅弁の開発、販売／JR東日本とのタイアップ ・東京駅等の5駅での販売 (4,500千円)						(3) アミューズメント性の高い「動く恐竜ライブショー」を活用した「恐竜王国福井」のPR (5,000千円) ・福井県産恐竜をモチーフにした新たなスーツの制作 ・(株)オンアートの興行会場での「恐竜王国福井」のPR						
(2) 京阪神地区での「恐竜と食」イベント巡回展の実施 ／イオンモールとのタイアップ (5,000千円) ・福井県恐竜博物館コレクション展示 ・開催期間中の集客イベント ・本県の食の魅力をアピールする物産展の開催 等						(4) ブランド発信コンテンツの充実等 (7,156千円) ・PR資材の制作、取材支援 等						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		45,867	45,882	40,423	39,828	28,156	40,000	40,000				
2月現計予算額の推移		41,967	45,882	40,423	34,828							
決算額の推移		35,806	39,806	31,635								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	魅力度ランキング <small>(地域ブランド調査(ブランド総合研究所))</small>	(目標)				(29)	(29)	(29)	20位代を継続			
	実績	38	40	45	29							
活動指標	新聞、雑誌等への掲載件数	(目標)			(750)	(750)	(750)	(750)	対前年度比100%を継続			
	実績	568	654	736								
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	28,156			(諸)	91	28,065	事業実施方法	直営				
							補助率					

事業評価

事業名	福井ブランド全国発信強化事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>本県の優れた歴史・文化・食等の良さを全国に発信し、ブランド価値を向上させるために、情報の発信元となる都市圏での集中的なPRや近隣の京阪神地区でのPR強化等の、効果的なPRが必要である。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 幕末明治150年福井の偉人発信プロジェクト事業 (役割分担) 幕末明治150年となる平成30年に向けた本県ゆかりの偉人の発信を関連事業において行う。		市町との連携状況				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<27年度実績> ・映画「ジュラシック・ワールド」とのタイアップ 全国の映画館90館での恐竜博物館CM放映 (H27.8~9月) ・(株)ナムコとのコラボによる恐竜ファン発掘全国キャラバンの実施 全国の大型ショッピングセンター等10カ所を巡回 (H27.7~翌3月) ・京急百貨店での恐竜イベントの開催 (H27.7/16~7/29) ・「越前歴史読本」の発刊 (H28.3月)				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

幕末明治150年福井の偉人発信プロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度 H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 H30 年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 [高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input type="checkbox"/> 県単	■ 補助金			
[事業目的]											
<p>近代日本の幕開けに活躍した本県出身偉人について、その功績等を県内外に発信する。特に、幕末明治150年の節目の年である平成30年の大河ドラマ誘致に向けて、年度前半に集中してNHKへの誘致活動や県内外での機運醸成、情報発信を実施する。</p>											
[事業内容]											
<p>(1) 県内における普及啓発 (5,894千円) 偉人の功績を周知する講演会等の開催 ・偉人の功績をまとめた映像の製作 ・検証会議の結果をリレー形式の講演会により周知(3回) ・時代考証学会の誘致 ・パネル展の開催(公立の博物館・図書館・金融機関等で巡回展示) ・市町・団体が行う普及活動に対する支援</p>						<p>(2) 県外における普及啓発 (3,097千円) 東京都等の関係都道府県との連携イベントの開催 ・国立公文書館において展示会の開催 ・歴史講座の開催(明治大学) ・アンテナショップや東京都庁との連携イベント</p>					
[予算額の推移等] (単位: 千円)											
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移				3,342	8,991	9,000	18,000	<H27> 6月補正 3,342千円 9月補正 10,719千円			
2月現計予算額の推移				14,061							
決算額の推移											
[成果指標等の推移]											
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	市町・団体等による自発的な顕彰イベント (目標)				(23)	(45)	(67)	県を除く大河ドラマ誘致推進協議会の構成団体 67団体			
活動指標	県による偉人を顕彰するイベント等 (目標)			(12)	(8)	(8)	(8)				
				12				H27.6月補正 検証会議2回、県外講座1回、県内講座1回 H27.9月補正 県内イベント5回、トークショー1回、都内イベント2回 H28 県内講演会等4回、県外イベント4回			
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県/市町・団体				
予算額	8,991				8,991	事業実施方法	直営/補助				
						補助率	1/2				

事業評価

事業名	幕末明治150年福井の偉人発信プロジェクト事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>本県ゆかりの偉人による全国への効果的なブランド発信を行うためには、明治維新150年の節目の年となる平成30年という絶好の機会における、偉人の功績やエピソード等の顕彰、発信が必要である。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくいブランド全国発信強化事業 (役割分担) ダントツ日本ーブランドである恐竜や食によるブランド発信を関連事業において行う。		市町との連携状況				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<27年度実績> ・偉人の功績の検証、講座、イベント等 10回 (27年度) ・ゆかりの地の都道府県と連携したイベント 2回 (27年度)				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

民間大使等によるブランド情報発信促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度	H23 年度	事業終了予定年度	H30 年度
関連する県の計画等		政策	[高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	■ 補助金		経過年数		
			[福井県観光新戦略]			<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他		6 年			
[事業目的]												
<p>「ふるさと福井」に愛着があり、本県のブランド情報発信にボランティアで取り組む本県ゆかりの人々を福井ふるさと大使、ふくいブランド大使等に委嘱・登録し、口コミやSNS等を通じて本県の魅力を県外に向けて発信する取組みを支援することにより、本県の全国的な認知度向上を図る。</p>												
[事業内容]												
<p>(1) 福井ふるさと大使の委嘱 ・大使への協力依頼、情報提供</p> <p>(2) ふくいブランド大使活動の支援 ・インターネットを活用した情報発信 メルマガなどを通して、大使にリアルタイムの情報を提供、フェイスブックによる情報発信・拡散 ・功労大使表彰、交流会等の開催（福井、東京、大阪） ・大使に対する活動補助 福井を発信するための独創的な活動に対する経費補助（2/3補助 上限200千円） 法人大使が県産品のPRのために行う「ふくいブランド大使フェア」の開催経費への補助（1/2 上限200千円）</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		3,265	2,979	4,352	2,871	1,861	1,675	1,507				
2月現計予算額の推移		3,065	2,379	4,352	2,871							
決算額の推移		1,748	1,024	3,261								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	ブランド大使の活動によるメディア掲載件数	(目標) (30)	(38)	(37)	(18)	(18)	(18)	(18)	直近3か年の実績平均			
		実績 36	10	9								
活動指標	ブランド大使登録者数	(目標) (1,037)	(1,137)	(1,235)	(1,252)	(601)	(601)	(601)	前年度末時点の登録者数 27年度は4年の任期満了に伴う更新により減			
		実績 1,137	1,235	1,252	601							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県／個人・法人				
予算額	1,861				1,861	事業実施方法		直営／補助				
						補助率		2/3以内				

事業評価

事業名	民間大使等によるブランド情報発信促進事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>ブランド総合研究所の調査による本県の知名度・魅力度は、26年度はいずれも45位であり、27年度は、魅力度については29位と大きく改善されたが、知名度は41位と依然下位に位置している。</p> <p>本県の全国的な知名度向上を図るためには、さらなるブランド発信に取り組む必要があり、「ふるさと福井」に愛着があり、本県のブランド発信にボランティアで取り組んでくれる本県ゆかりの人々の協力を得ることが効果的である。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
①福井ふるさと大使、②ふくいブランド大使				①29名、②516名・85団体			
他県の状況	富山県 とやまふるさと使節（379名） とやま大使（9名） 石川県 いしかわ観光大使（683名） 石川県観光大使（14名） ※平成27年9月末時点			前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）		
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）			市町との連携状況			
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<27年度実績> ・福井ふるさと大使 29名 ・ふくいブランド大使 個人516名、法人85団体 ・補助実績1件		・考福学かたりべをブランド大使として位置づけ、引き続き本県の魅力発信を継続していく。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

恐竜ブランドキャラクタービジネス促進強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度 H24 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 H30 年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 [高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input type="checkbox"/> 県単	□ 補助金			
[事業目的]											
恐竜ブランドキャラクター「Juratic」の県内外での広報宣伝活動による恐竜王国福井の認知度向上と、キャラクター商品の開発・販売促進による恐竜ビジネスの促進を図る。											
[事業内容]											
<p><商品開発販売の促進></p> <p>(1) 「Juratic」デザインの監修 (5,238千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Juratic」を活用した商品の開発にあたってのデザイン監修 ・県内外の事業者に対する商品開発に向けた直接営業 <p><広報宣伝活動の強化></p> <p>(2) 県内外での「Juratic PR隊」の広報宣伝活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3体の着ぐるみとMCによる効果的な宣伝活動を県内外で実施 <li style="padding-left: 40px;">県内：恐竜博物館・保育所・幼稚園、大型ショッピングセンター、各種イベント <li style="padding-left: 40px;">県外：大型商業施設、県外観光地等でのイベント実施 											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		4,824	5,844	21,745	21,846	10,045	10,045	10,045			
2月現計予算額の推移		4,824	5,844	30,133	21,846						
決算額の推移		1,621	5,305	29,685							
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	ジュラチック累計商品数 (目標)	(5)	(100)	(200)	(231)	(254)	(279)	(307)	対前年度1割増 H26.2月ジュラチック発表、24年度までは恐竜を素材とした商品数		
	(実績)	3	144	210							
活動指標	商品・サービスの開発支援 (目標)	(5)	(100)	(200)	(231)	(254)	(279)	(307)	24年度は恐竜を素材とした商品開発支援数		
	(実績)	3	144	210							
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県			
予算額	10,045			(諸)	2,471	7,574	事業実施方法	直営			
							補助率				

事業評価

事業名	恐竜ブランドキャラクタービジネス促進強化事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之			
[事業の必要性・要求の背景]										
<p>県内企業および県外企業の恐竜を活用した商品製作を促進するため、福井県公式恐竜ブランドとして、恐竜をモチーフとしたキャラクター「Juratic（ジュラチック）」を制作した。 「福井県＝恐竜」の定着を図り、全国からの誘客を目指すため、恐竜をモチーフとしたキャラクターによるPR活動および民間企業による商品製作の促進が必要である。</p>										
[受益者]				[想定される受益者数]						
商品製造企業				28企業						
他県の状況	キャラクター使用の際にロイヤリティ徴収を行っている都道府県は本県を含めて4県 ・千葉県（チーバくん） ・奈良県（せんとくん） ・島根県（しまねっこ）	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）							
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況								
[事業の評価]										
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価						
・商品開発数：105商品 263アイテム（H28.1月現在） ・サンリオキャラクター「HELLO KITTY」とのコラボレーション		・商品化に向けたプランニング、営業を直営とし、経費を見直し		<input type="checkbox"/>	拡充	<input type="checkbox"/>	縮減	<input type="checkbox"/>	終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/>	継続	<input type="checkbox"/>	休止	<input type="checkbox"/>	完了	
				<input type="checkbox"/>	整理統合	<input type="checkbox"/>	廃止	<input type="checkbox"/>	その他	

「食の國福井」ブランド力強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部内	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業] 政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 ■ その他	事業開始年度 H19 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[福井県観光新戦略]								
[事業目的]											
「食の國福井」の全国における認知度を向上させるため、都市圏での食関連イベント参加等を通じて地産外商を進めるとともに、食の歴史・文化をトータルに発信する。											
[事業内容]											
(1) 営業活動 これまでの訪問活動により獲得した顧客等に県職員が直接訪問し、継続的な食材の使用を促すとともに、新規開拓に向けた情報収集・訪問活動を実施 (2) 商談の場の提供 バイヤーを産地に招き、直に食材の良さ、産地風景、食文化等を体感してもらう商談の場を設定 マッチング商談会を開催し販路拡大を進めるとともに首都圏に県産食材のPRを実施 (3) チーム福井の売込支援 食および伝統工芸の事業者、県等が一体となり国際的な食の展示会等に出展し、本県の食や食文化を発信 (4) JRとの連携による食の発信 東京駅など首都圏のJR沿線において福井の食をPR (5) 広報宣伝 情報誌によるパブリシティ活動、出向宣伝の実施											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		18,744	16,744	15,805	14,044	12,112	11,151	10,286			
2月現計予算額の推移		9,744	12,721	13,470	14,044						
決算額の推移		8,347	8,048	10,614							
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	福井の食を取り上げる雑誌、テレビ番組数(件)	(目標) 23 実績 23	(目標) 19 実績 19	(目標) 96 実績 96	(目標) 96 実績 96	(目標) 96 実績 96	(目標) 96 実績 96	(目標) 96 実績 96	前年度実績を維持		
	イベント出展件数	(目標) 8 実績 8	(目標) 10 実績 10	(目標) 25 実績 25	(目標) 27 実績 28	(目標) 5 実績 5	(目標) 5 実績 5	(目標) 5 実績 5	H27年度までは福井フェア開催件数(件) H28年度以降は食関連イベントへの出展件数(件)		
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県				
予算額	12,112			(諸) 2,000	10,112	事業実施方法	直営				
						補助率					

事業評価

事業名	「食の國福井」ブランド力強化事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之
[事業の必要性・要求の背景]							
福井県の認知度は低く、食の地産外商および県内への誘客を進めるため、食の歴史・文化をトータルに発信するなど食による県外でのPR活動が必要である。							
[受益者]				[想定される受益者数]			
福井県内の生産者、食品業者等							
他県の状況				前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)		
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井ゆかりの店の情報発信拠点活用事業（農林部） (役割分担) 当事業は県外へのPRによる食のブランド発信が目的であるが、福井ゆかりの店の情報発信拠点活用事業では県産食材の販路拡大を目的としている			市町との連携状況			
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<27年度実績> ・福井フェア開催件数 28件 ・福井の食について掲載する雑誌数 47件 ・福井の食を取り上げるTV番組 50件		・補助金での都市圏でのフェア開催から、食や伝統工芸品の事業者、行政、経済団体が一体となって食の展示会等に 出展するなどの売り込みに組換え		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 1,932
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

「若狭路ご膳」推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等			[福井県観光新戦略]									
[事業目的]												
舞鶴若狭自動車道全線開通を契機に誘客を促進するため、嶺南地方が誇る新鮮な海の幸等を活かしたランチメニューの普及・拡大を図り、また、地元飲食店による自主的な活動の定着を図る。												
[事業内容]												
(1) 若狭路・昼のおすすめメニュー推奨会（事務局：若狭湾観光連盟）への補助 <ul style="list-style-type: none"> ・「若狭路ご膳」提供店の募集、登録 ・PRツールの作成（パンフレット、のぼり等） ・登録店を対象とした研修会の開催 ・キャンペーンによるPR強化 ・地域ごとの意見交換会の実施 												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		0	2,511	6,717	1,497	998	898					
2月現計予算額の推移		2,327	2,511	6,717	1,497							
決算額の推移		2,281	2,494	6,473								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	登録メニュー数	(目標) (30)	(40)	(100)	(135)	(145)	(155)		対前年度10メニュー増			
		実績 30	90	125	134							
活動指標	キャンペーン参加店舗数	(目標)		(30)	(130)	(40)	(50)		対前年度10店舗増 26年度は海鮮丼コンテスト参加店 27年度は「若狭路ご膳」全登録店舗＋スイーツ提供店			
		実績 —	—	29	132							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		若狭路・昼のおすすめメニュー推奨会				
予算額	998				998	事業実施方法		補助金				
						補助率		県10/10				

事業評価

事業名	「若狭路ご膳」推進事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之
[事業の必要性・要求の背景]							
平成26年7月の舞鶴若狭自動車道全線開通を契機に、観光客に嶺南を代表する食ブランドとして「若狭路ご膳」をPRし、また地元飲食店を中心とした地域の自主的な活動を促進するためにも、市町、団体等と一体となった活動を行う必要がある。							
[受益者]				[想定される受益者数]			
嶺南地域の飲食店、ホテル、民宿等				約100店舗			
他県の状況	石川県 「能登井」 富山県 「富山湾鮎」 等のPR活動を展開中			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)		
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「海湖と歴史の若狭路」発信事業 (役割分担) 観光誘客の一環として食PRの分野を担当			市町との連携状況	嶺南6市町も若狭路・昼のおすすめメニュー推奨会会員として加盟しており、県と協働して事業を実施		
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<27年度実績> ・女性を主なターゲットとして、「若狭路スイーツキャンペーン」を実施		・登録店舗による自主運営を促すため、県予算を縮減		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 499
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

「伝統の福井和食」発信・インバウンド促進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課		課長名	岩佐浩之
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度	事業終了 予定年度	H28 年度
関連する県の計画等			政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				<input type="checkbox"/> 県単	■ 補助金		経過年数		
			[福井県観光新戦略]				<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他		1 年		
[事業目的]												
福井の食・食文化を活用し、海外からの観光誘客に結び付けるため、福井の食文化を学び体験する場としてモデル的な飲食店等を支援することで拠点づくりを進め、「伝統の福井和食」を国内外に発信する。												
[事業内容]												
(1) 「伝統の福井和食」体験メニュー提供店舗におけるインバウンド対応人材の育成研修の実施 ・外国人観光客が求める食の体験や外国人が体験する際の指導法などを学ぶ研修会の開催 ・在住外国人による料理体験マニュアルのチェック・指導 (2) 提供店舗が行うインバウンド対応事業への支援 ・「伝統の福井和食」体験メニューの外国人体験リハーサル実施 ・外国人観光客を想定した外国語による体験マニュアルや体験解説VTRを作成 ・インターネットを通じた情報発信 ・提供店が行うPR看板やのぼりの設置、外国語メニューの作成等に対する補助												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						5,974						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	外国人宿泊者数(人) (※暦年)	(目標)		(42,000)	(42,000)	(60,000)	(70,000)	(80,000)	観光新戦略：平成31年目標値 100,000人			
		実績	21,030	28,460	31,530							
活動指標	「伝統の福井和食」提供 店舗数	(目標)				(5)			実施見込み店舗数			
		実績										
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県 / 県内飲食店				
予算額	5,974			(諸)	2,737	3,237	事業実施方法	直営 / 補助金				
							補助率	/ 1/2				

事業評価

事業名	「伝統の福井和食」発信・インバウンド促進事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>平成25年12月にユネスコ無形文化遺産に「和食-日本人の伝統的な食文化」が登録されるなど和食に注目が集まっている中、ミラノ国際博覧会で本県は「禅と精進料理」を世界に向けてPRした。</p> <p>今後、海外からの観光客が日本に集まってくる中で、受け入れ態勢の整備や効果的な情報発信など、インバウンド対応の強化が必要である。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
外国人観光客				約10万人			
他県の状況		前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況		各市町を通じて提供店舗募集し、店舗を中心とした周遊ルートの考案まで、各市町と店舗との共働を要件とする。			
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

ふくいの農林水産物を活用した料理化・誘客拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度	H27 年度	事業終了予定年度	H28 年度
関連する県の計画等		政策	[「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				<input type="checkbox"/> 県単	■ 補助金		経過年数		
			[福井県観光新戦略]			<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他					
[事業目的]												
世界のトップシェフによる、里山の自然を活かした料理と美食・食文化との融合を図る実地研修会を開催し、ふくいの農林水産物を活用した料理を組み込んだツアー等の実施につなげるなど、本県への誘客促進を図る。												
[事業内容]												
(1) 世界的有名シェフによる里山実地研修会の開催 世界を料理で魅了する成澤由浩シェフを講師に、里山の自然をそのまま食材に活用する料理についての考え方の講義や調理実演を行う講習会を開催												
○里山実地研修会 (対象者) 料理人、生産者 50名 (内容) ・サステナビリティの考え方を学ぶ里山視察・実地研修会 ・里山の素材を活かした調理実演												
(単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移					2,048	550			27年度は研修会と新たに開発した料理の発表会を実施 28年度は里山実地研修会を実施			
2月現計予算額の推移					1,848							
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	研修会の成果を料理として提供する店舗数 (目標) 実績				(10) 18	(10)			参加者50名は生産者10名、飲食店20店舗×2名を想定。参加店舗数の半数を目標			
活動指標	研修会に参加する料理人・生産者の人数 (目標) 実績				(50)	(50)			1回当たり研修会の参加可能人数50人			
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	550			(諸) 500	50	事業実施方法	直営					
						補助率						

事業評価

事業名	ふくいの農林水産物を活用した料理化・誘客拡大事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>世界の料理界に影響を与え魅了しているトップシェフから食材の生産者と料理人に対して素材の良さの見出し方や引出し方を学ぶことにより、食材が育まれた里山の環境を共に感じ、次の食材を選び、良さを引き出す力を身に付けることにつなげていく。本県への誘客の素材としての料理を増やしていくためにも、前述のような生産者、料理人を対象とした研修が必要である。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
・料理人、生産者				50人				
他県の状況				前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
<27年度実績> ・27年11月23日 福井の「食」の魅力向上講習会を開催 (83名参加) ・28年 3月10日 新たな料理の発表会を開催		・28年度は、シェフによる素材を選ぶ視点を伝えるため、実際に生産地において実地研修を行う。			<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 1,498
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

恐竜博物館 企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H12 年度 経過年数 17 年	事業終了 予定年度	— 年度
関連する県の計画等		政策	[高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金				
[事業目的]												
県民をはじめとする一般に対して新しい知識や情報を提供し、恐竜をはじめとする古生物学への見識と関心を広めるため、定期的に企画展を開催する。												
[事業内容]												
1 企画展名	～新大陸をめざした恐竜：ティラノサウルス類と角竜類～（仮称）											
2 開催趣旨	アジアで出現した小型のティラノサウルスやトリケラトプスの祖先が北米に渡り大型化する進化の道筋を、当時の大陸の移動と併せて紹介 日本初公開のティラノサウルスの仲間ビスタヒエヴェルソルの実物頭骨を主要展示とし、多様なティラノサウルスと角竜の仲間を展示											
3 開催予定期間	平成28年7月8日（金）～10月10日（月・祝）までの95日間											
4 展示予定内容	① ビスタヒエヴェルソルの実物頭骨化石を展示 【日本初公開】 特徴：北米の最古級のティラノサウルス類。アジアが起源のティラノサウルス類が北米に渡ったあとの様子を知るための貴重な標本 ② ペンタケラトプスの実物頭骨化石を展示【日本初公開】 特徴：北米の進化した恐竜。派手な襟飾りが特徴 ③ モザイケラトプス・アズマイの実物骨格化石【中国国外初公開】 特徴：中国の原始的な角竜。恐竜博物館の東特別館長にちなんで命名											
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由				
当初予算額の推移	78,302	83,228	51,696	85,072	54,928	70,000	70,000	27年度は、共催事業者との負担割合が県約80%に対して、28年度は約50%				
2月現計予算額の推移	78,302	83,228	51,696	77,459								
決算額の推移	77,080	82,944	51,605									
[成果指標等の推移]												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	特別展観覧者数	(目標)			(200,000)	(210,000)	(210,000)	直近2年の平均値を目標				
		実績	143,378	180,546	176,405	224,470						
活動指標	開催日数	(目標)			(95)	(95)	(95)	7月2週目から10月1週目までの約3か月間				
		実績	92	92	92	93						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県と読売新聞社との実行委員会					
予算額	54,928			(諸)	70,956	△ 16,028	事業実施方法	実行委員会への負担金				
							補助率					

事業評価

事業名	恐竜博物館 企画展開催事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之	
[事業の必要性・要求の背景]								
県内外からの来館者に対して恐竜についてより深く紹介するため、日頃は見ることのできない貴重な資料に触れる機会を積極的に提供することが必要である。								
[受益者]				[想定される受益者数]				
恐竜博物館企画展入館者				約20万人				
他県の状況				前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
<27年度実績> ・恐竜博物館開館15周年記念特別展「南アジアの恐竜時代」 ・27年7月10日(金)～10月12日(月・祝) (93日間) ・開催期間中の入場者数が224,470人と過去最高を更新					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

恐竜博物館魅力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之			
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	H29 年度		
関連する県の計画等		政策	[高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金					<input type="checkbox"/> その他	
[事業目的]														
恐竜博物館の学術性やさらなる魅力向上、入館者の増加を図るため、平成27年度に購入した実物骨格化石等について、骨格組立ておよび展示を行う。														
[事業内容]														
平成27年度に購入した32体のうち、貸出しに使用する6体を除いた26体を常設展示														
1 全体計画														
・組立 7体（実物 5体、複製 2体）														
・展示 26体（実物 20体、複製 4体、肉付模型 2体）														
2 上記のうち28年度実施分														
・組立 5体（実物 3体（ディメトロドン、エドモントニア、ヘスペロサウルス）、複製 2体（ティロサウルス、アルシノイテリウム）														
・展示 23体（実物 18体（トリケラトプス、ヘスペロサウルス、エドモントニア、エラスモサウルス、ディメトロドン、ステノプテリギウス、ステネオサウルス、プテロダクティルス、モア、シーラカンス、シファクティヌス、淡水魚の密集化石、プロントテリウム、スミロデクテス、メリコイドドン、ヒエノドン、ウミユリ化石、シダプレート）、複製 3体（ティロサウルス、アルシノイテリウム、シファクティヌス）、肉付模型 2体（デイノニクス、アロサウルス））														
[予算額の推移等] （単位：千円）														
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由						
当初予算額の推移				276,966	59,824	39,922								
2月現計予算額の推移				276,966										
決算額の推移														
[成果指標等の推移]														
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	恐竜博物館入館者数	(目標)	(550,000)	(570,000)	(750,000)	(800,000)	(850,000)	(900,000)	(950,000)				(31年度目標100万人－27年度目標80万人) ÷ 4年 ＝5万人/年増	
		実績	541,155	708,329	708,975									
活動指標	展示標本数	(目標)			(2)	(23)	(1)						27年度ブラキオサウルス等2体、28年度上記23体、 29年度アロサウルス1体	
		実績												
[財源内訳・事業主体等]														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県						
予算額	59,824			(繰入) 59,824	0	事業実施方法		直営						
						補助率								

事業評価

事業名	恐竜博物館魅力向上事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>恐竜博物館の誘客効果は非常に高く、他の観光地に対する波及効果も大きい。新規化石を骨格組立・展示による恐竜博物館のメディア等の掲載数や入館者数の増加を図るため、展示をレベルアップする必要がある。</p>								
恐竜博物館入館者				[想定される受益者数]				
				約90万人				
他県の状況				前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
<27年度実績> ・アロサウルス全身骨格標本等32点購入 ・ブラキオサウルス、珪化木の常設展示					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

地域振興基金積立金

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度 H22 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等		政策	[高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金			
[事業目的]											
恐竜博物館のさらなる魅力向上のために、地域振興基金より借り入れた化石標本の購入・組立・展示に必要な資金を、ミュージアムバリューアップ制度を活用し、基金に積み立てる。											
[事業内容]											
平成27年度に(株)林原から購入した恐竜等化石標本を平成29年に向けて順次組立・展示を行うにあたり、必要な資金を地域振興基金より借り入れし、ミュージアムバリューアップ制度を活用し、同基金に積立											
※ミュージアムアップバリュー制度 恐竜の化石など博物館の収蔵品について機動的な先行投資を行い、魅力の向上に合わせて料金を引き上げることにより、投資を回収する本県独自の制度											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移	—	48,960	55,460	—	73,507	70,000	70,000				
2月現計予算額の推移	1,157	107,395	108,732	158,046							
決算額の推移	1,157	107,395	108,732								
[成果指標等の推移]											
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	恐竜博物館入館者数 (目標)	(550,000)	(570,000)	(750,000)	(800,000)	(850,000)	(900,000)	(950,000)	(31年度目標100万人－27年度目標80万人)÷4年 ＝5万人/年増		
	実績	541,155	708,329	708,975							
活動指標	(目標)								基金への返済事業であり、歳出決算額が活動内容であるため、活動指標にはなじまない。		
	実績										
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県				
予算額	73,507			(使) (諸) 73,507	0	事業実施方法	地域振興基金会計への積立(積立金)				
						補助率					

事業評価

事業名	地域振興基金積立金	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之
[事業の必要性・要求の背景]							
博物館の資料を購入し、本物の魅力を高めるためには、ミュージアムアップバリュー制度活用による、機動的な先行投資が必要							
[受益者]				[想定される受益者数]			
恐竜博物館入館者				約90万人			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)		市町との連携状況				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<27年度実績> ・21年度に購入したカマラサウルスの購入・組立・展示に係る資金の借入金については、27年度中に完済 ・27年度に(株)林原から全身骨格等32体を購入し、基金への積立を開始				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

第4次恐竜化石発掘調査事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度	H31 年度
関連する県の計画等			[福井県観光新戦略]									
[事業目的]												
平成元年から継続的に行われてきた恐竜化石調査事業は、平成25年度から第4次発掘調査を実施しており、今後さらに新たな恐竜化石の発見も期待できることから、28年度も引き続き調査を実施する。												
[事業内容]												
(1) 事業内容												
1 掘削工事 (平成25年度～平成29年度) 約5,000m ³												
2 発掘調査 (平成25年度～平成30年度) 約 900m ²												
3 クリーニング (平成25年度～平成31年度) 約5,000点												
(2) 調査期間の見直し												
・平成27年度調査時に足跡化石層においてアンキロサウルス類の足跡や昆虫の化石等が新たに見つかり、その確認・調査に時間を要したことから、「2発掘調査」の期間を平成28年度までとしていた当初計画を見直し、2年延長												
・平成30年度までに残りの足跡化石層およびボーンベッド層、新化石層の掘削工事および発掘調査を実施												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		17,851	47,875	70,456	38,000	40,655	40,000	40,000				
2月現計予算額の推移		14,575	47,875	70,515	38,000							
決算額の推移		12,856	37,889	66,846								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	恐竜博物館入館者数	(目標)	(550,000)	(570,000)	(750,000)	(800,000)	(850,000)	(900,000)	(950,000)	(31年度目標100万人－27年度目標80万人)÷4年 ＝5万人/年増		
		実績	541,155	708,329	708,975							
活動指標	調査日数	(目標)		(48)	(41)	(41)	(42)	(42)	(42)	夏休み期間を含む7月下旬から9月上旬まで		
		実績		48	41	41						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	40,655			(諸) 932	39,723	事業実施方法	直営					
						補助率						

恐竜化石等共同調査研究事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H22 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等		政策	[高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金				
[事業目的]												
<p>県外の恐竜をはじめとした学術価値および注目度の高い化石を対象に、その産出地組織である3自治体（長崎市、天草市、岐阜県）と共同発掘を含む研究調査や化石クリーニング事業を行い、全国に福井県の専門性と研究能力をブランドとして発信する。</p>												
[事業内容]												
<p>(1) 九州地方恐竜・哺乳類化石プロジェクト</p> <p>1 長崎市白亜紀脊椎動物化石共同発掘・調査研究事業（長崎市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恐竜や翼竜など、恐竜博物館の調査による化石産出実績のある三ツ瀬層を対象に、白亜紀後期の脊椎動物化石を共同発掘 ・恐竜博物館での化石クリーニング・研究を経て、長崎市の実物化石を展示公開 <p>2 天草市白亜紀恐竜化石・古第三紀哺乳類化石共同調査研究事業（天草市立御所浦白亜紀資料館）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天草市立御所浦白亜紀資料館が収集した、未処理の大型恐竜および日本最古の大型哺乳類化石をクリーニングし、天草市の実物化石を展示公開 <p>(2) 中部地方恐竜化石プロジェクト</p> <p>岐阜県白亜紀前期恐竜化石共同調査研究事業（岐阜県立博物館）</p> <p>岐阜県の手取層群を対象に、恐竜などの脊椎動物化石の産出が見込める地域を共同で調査し、試掘を実施</p>												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		1,157	3,185	5,084	6,909	6,182	7,000	7,000				
2月現計予算額の推移		1,157	4,437	5,128	6,909							
決算額の推移		1,156	4,329	4,553								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	恐竜博物館入館者数	(目標) 541,155	(550,000) 708,329	(750,000) 708,975	(800,000)	(850,000)	(900,000)	(950,000)	(31年度目標100万人－27年度目標80万人) ÷ 4年 ＝5万人/年増			
		実績										
活動指標	共同研究相手自治体等	(目標) 3	(3) 3	(3) 3	(3) 3	(3)	(3)	(3)	長崎市、天草市、岐阜県			
		実績										
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	6,182			(諸) 4,493	1,689	事業実施方法		直営				
						補助率						

事業評価

事業名	恐竜化石等共同調査研究事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>恐竜博物館による調査の主導的参画や支援を広報し、全国に福井県の専門性（ノウハウ）と研究能力を「ブランド」として売り込むとともに、国内に眠る恐竜などの古生物学資料を掘り起こし、研究の中核機関としてのイメージを定着させることで、恐竜博物館のさらなる入館者増につなげる。</p>							
[受益者] 恐竜博物館入館者				[想定される受益者数] 約90万人			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 海外恐竜化石調査共同研究事業 (役割分担) 海外における共同研究は、海外恐竜化石調査共同研究事業において実施	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<27年度実績> ・長崎市内の白亜紀後期の地層から、ティラノサウルスの大型種としては国内初となる化石を発見				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

海外恐竜化石調査共同研究事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H23 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度	H31 年度
関連する県の計画等		政策	[高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金				
[事業目的]												
<p>恐竜博物館の国際的な拠点化と恐竜研究ネットワークの形成を目指すため、国外の恐竜をはじめとした学術価値および注目度の高い化石を対象に、その産出地国と共同発掘を含む研究調査や化石クリーニング事業を行い、世界に向けて福井県の専門性と研究能力をブランドとして発信する。</p>												
[事業内容]												
<p>(1) タイにおける恐竜化石の発掘調査 (第3期発掘調査) (18,611千円) 1 姉妹提携機関であるシリントーン博物館および珪化木鉱物資源東北調査研究所と共同で、タイ東北部における恐竜化石発掘調査を実施 ・ 恐竜博物館の研究職員4名が現地(タイ東北部)に赴き、発掘調査指導および化石クリーニング指導を実施 ・ 姉妹間関係を締結したタイ・シリントーン博物館との研究交流を実施</p> <p>(2) 中国における恐竜化石の共同研究 (第3期発掘調査) (9,254千円) 1 姉妹提携機関である中国浙江省の浙江自然博物館の研究員らとの共同で、恐竜化石研究を実施 ・ 研究員4名が中国浙江省に赴き、化石クリーニング指導や現地での共同研究を実施</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由				
当初予算額の推移	28,713	27,880	30,796	34,873	27,865	28,000	28,000					
2月現計予算額の推移	28,713	27,880	30,796	34,873								
決算額の推移	25,839	26,046	30,276									
[成果指標等の推移]												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	恐竜博物館入館者数 (目標)	(550,000)	(570,000)	(750,000)	(800,000)	(850,000)	(900,000)	(950,000)	(31年度目標100万人－27年度目標80万人)÷4年 ＝5万人/年増			
	実績	541,155	708,329	708,975								
活動指標	共同研究相手国 (目標)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	中国、タイの2か国			
	実績	2	2	2	2							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	27,865			(諸) 105	27,760	事業実施方法	直営					
						補助率						

事業評価

事業名	海外恐竜化石調査共同研究事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>タイや中国などアジア地域での研究員による恐竜化石調査の共同研究を行うことで、恐竜博物館による調査の主導的参画や支援を広報し、全国に福井県の専門性（ノウハウ）と研究能力を「ブランド」として売り込むとともに、国外に眠る恐竜などの古生物学資料を掘り起こし、研究の中核機関としてのイメージを定着させることで、恐竜博物館のさらなる入館者増につなげる。</p>							
[受益者] 恐竜博物館入館者				[想定される受益者数] 約90万人			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 恐竜化石等共同調査研究事業 (役割分担) 国内における共同研究は、恐竜化石等共同調査研究事業において実施	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<27年度実績> ・タイ東北部チャイヤプーム県の新たな化石産地から、大型獣脚類の歯や恐竜の尾椎など計約300点の化石を収集 ・浙江省義烏(イーウー)市内の平疇(ピンチョウ)村では多数の翼竜足跡化石や、獣脚類と鳥脚類の足跡化石を発見				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

ジオパーク推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業] 政策 [高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H21 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[福井県観光新戦略]									
[事業目的]												
ジオパークに認定されている「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」の活動を支援することで、福井県立恐竜博物館および恐竜ブランドのPRを図る。												
[事業内容]												
(1) 恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク推進協議会が行う以下の活動に補助												
○活動内容												
・ジオパーク学習、ジオパーク講演会・研修会の開催												
・ジオツアーの開催												
・ガイド養成講座の開催												
○補助率 1/2以内(上限500千円)												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		500	500	500	500	500	500	500				
2月現計予算額の推移		500	500	500	500							
決算額の推移		500	500	500								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	恐竜博物館入館者数 (目標)	(550,000)	(570,000)	(750,000)	(800,000)	(850,000)	(900,000)	(950,000)	(31年度目標100万人-27年度目標80万人)÷4年 =5万人/年増			
	実績	541,155	708,329	708,975								
活動指標	イベントの開催、全国規模の研修会参加等回数 (目標)			(18)	(6)	(6)			当該年度に開催予定の研修会等を積み上げ			
	実績			18								
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク推進協議会				
予算額	500				500	事業実施方法		補助				
						補助率		1/2以内				

事業評価

事業名	ジオパーク推進事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>ユネスコの支援するジオパークは、地質学的に重要な地層を含む一種の自然公園であり、新たな観光資源として活かすことが期待されている。県内では「恐竜、恐竜化石」をメインテーマとしたジオパークを目指し、平成21年10月に「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」が認定された。 ジオパークの推進を図っていくため、県としては、勝山市を中心とする「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク推進協議会」に参画し、協議会が行う取組に対し、地質学的な検証や財政的支援を行う必要がある。</p>							
[受益者] 恐竜博物館入館者				[想定される受益者数] 約90万人			
他県の状況	ジオパーク認定状況（39地域） 世界ジオパーク認定（8地域） 日本ジオパーク認定（31地域）	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況	勝山市は「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク推進協議会」の構成員・事務局				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<27年度実績> ・他県での研修会等参加 9回 （第1回北陸新幹線関連ジオパーク連絡会議等） ・県内でのイベント開催 8回 （小中学校での火山教室等）				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

第2恐竜博物館整備調査事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度	事業終了 予定年度	H28 年度
関連する県の計画等			政策 [高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input type="checkbox"/> 県単	□ 補助金		経過年数		
			[福井県観光新戦略]				<input type="checkbox"/> その他	□ その他		1 年		
[事業目的]												
<p>恐竜博物館の年間入館者数100万人の実現に向け、アミューズメントの核となる「第2恐竜博物館」について、民間活力の導入を視野に入れ、開発事業者等と第2館に必要な機能や投資条件等について協議を行い、平成27年度内に整備に必要な諸条件等を整理することとしている。</p> <p>平成28年度は、この整理結果を踏まえ、施設の具体的な構成や規模、管理運営体制、概算事業費等について検討を行い、基本構想・計画を策定する。</p>												
[事業内容]												
<p>(1) 基本構想・計画策定委員会の設置・開催</p> <p>○主な検討項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンセプト(あり方、担う役割と特色 等) ・求められる役割と機能(総論、学術・研究、展示、収蔵、アミューズメント、憩い・交流、情報発信 等) ・整備の考え方(立地場所、建物の検討、各階の構成と面積、名称 等) ・第2恐竜博物館の運営の考え方(管理運営体制、展開する事業活動、関係機関等との連携のあり方 等) <p>○委員 8名(博物館運営の専門家や開発事業者、旅行・テーマパーク関係者等に委員を委嘱)</p> <p>(2) 民間事業者参画可能性調査の実施</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						9,231						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	恐竜博物館入館者数	(目標) (550,000)	(570,000)	(750,000)	(800,000)	(850,000)	(900,000)	(950,000)	(31年度目標100万人-27年度目標80万人)÷4年 =5万人/年増			
		実績 541,155	708,329	708,975								
活動指標	策定委員会開催数	(目標)				(5)						
		実績										
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	9,231				9,231	事業実施方法		直営				
						補助率						

事業評価

事業名	第2恐竜博物館整備調査事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>入館者数の増加につなげるため、第2恐竜博物館の基本計画を策定し、長尾山総合公園全体について十分議論し、恐竜博物館のさらなる魅力向上を行う必要がある。</p>								
恐竜博物館入館者				[想定される受益者数]				
				約90万人				
他県の状況				前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

「動く恐竜体験ライブ」開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課		課長名	岩佐浩之
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業] 政策 [高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[福井県観光新戦略]									
[事業目的]												
恐竜を活用したアミューズメント性の高いイベントを開催することで、恐竜博物館の来館者・年間100万人超を目指すとともに、まちなかや地域全体に観光客が周遊できるしくみを構築する。												
[事業内容]												
(1) 「DINO-A-LIVE in ふくい勝山2016」実行委員会(仮称)への負担金 ・開催主体: 「DINO-A-LIVE in ふくい勝山2016」実行委員会(仮称) <福井県・勝山市・(株)オンアートほか> ・開催期間: 平成28年8月(2週間程度) ・開催場所: 勝山市内 ・開催内容: 動く恐竜3体による恐竜ライブショー <約30分間>												
[予算額の推移等] (単位: 千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移					5,000	5,000						
2月現計予算額の推移					5,000							
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	公演入場者割合 (%) (目標) 実績				(60) 45	(60)	(60)	(60)	都市圏でのライブショーにおける入場者割合の実績 (60%)			
活動指標	公演回数 (目標) 実績				(127) 127	(127)	(127)	(127)	土日8日×6回+平日16日×4回+臨時15回			
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	5,000				5,000	事業実施方法	勝山市・事業者との実行委員会形式					
						補助率						

事業評価

事業名	「動く恐竜体験ライブ」開催事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之				
[事業の必要性・要求の背景]											
<p>恐竜博物館において本物の魅力を提供し、本事業において動く恐竜の迫力を提供することにより、恐竜博物館に新たな客層を呼び込み、入館者の増加につなげるため本事業が必要である。</p>											
公演入場者数				[想定される受益者数]							
				約1万人							
他県の状況		前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	事業名 (実績)						
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	市町との連携状況		事業名 (役割分担)							
[事業の評価]											
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価							
<27年度実績> ・8/1(土)～8/24(月)の24日間 会場：勝山市民会館 入場者：17,384人		・恐竜博物館との周遊性を高めるため、会場等を変更		<input type="checkbox"/>	拡充	<input type="checkbox"/>	縮減	<input type="checkbox"/>	終期の見直し	見直し額	
				<input checked="" type="checkbox"/>	継続	<input type="checkbox"/>	休止	<input type="checkbox"/>	完了		
				<input type="checkbox"/>	整理統合	<input type="checkbox"/>	廃止	<input type="checkbox"/>	その他		

恐竜博物館パーク&バスライド推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課		課長名	岩佐浩之
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 [高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input type="checkbox"/> 県単	□ 補助金		経過年数		
			[福井県観光新戦略]				<input type="checkbox"/> その他	□ その他				
[事業目的]												
恐竜博物館への入館者数が顕著に増加している中、約8割を占める自動車での入館者の利便性を確保し、繁忙期における勝山市内での渋滞発生状況の改善を図るため、例年勝山市が行っているパーク&バスライドに加え、県が新たな臨時駐車場までの運行を実施する。												
[事業内容]												
(1) 臨時駐車場設置場所 ・勝山大仏前（恐竜博物館より4.4km地点。約300台駐車可能）												
(2) 実施日 ・ゴールデンウィーク、お盆、SW等12日間												
(3) バス台数 ・6台/日												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						5,910						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	恐竜博物館入館者数	(目標) 541,155	(550,000) 708,329	(750,000) 708,975	(800,000)	(850,000)	(900,000)	(950,000)	(31年度目標100万人－27年度目標80万人)÷4年 ＝5万人/年増			
		実績										
活動指標	シャトルバス運行台数	(目標)				(72)	(72)	(72)	1日当たり6台×12日間			
		実績			0							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	5,910				5,910	事業実施方法		直営				
						補助率						

事業評価

事業名	恐竜博物館パーク&バスライド推進事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>恐竜博物館の年間入館者数が2年連続で70万人を超え、お盆やゴールデンウィーク、シルバーウィーク等の繁忙期には、恐竜博物館へ向かうアクセス道路に渋滞が発生している。(最長4.5km)</p> <p>この解消が喫緊の課題であり、例年勝山市が行っているパーク&バスライドについて、県が新たな臨時駐車場を加えて運行し、改善状況を検証する。</p>								
恐竜博物館入館者				[想定される受益者数]				
				約90万人				
他県の状況				前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	